

中央大学文学部考古学研究室 2019年度活動報告

和台遺跡・滝坂遺跡

上黒岩第2岩陰遺跡

2019年度発掘調査の概要

2020年3月10日

中央大学文学部日本史学専攻考古学ゼミ 小林謙一

和台遺跡 福島県福島市飯野明治

昨年度より継続して T96 トレンチの発掘調査を行った。調査結果として、縄紋時代前期に比定される SI2 住居を床面まで掘り下げ、調査区南側を拡張し、SI2 住居下部に重複する古い SI1 住居 (旧 SI3) を確認した。出土遺物として、早期中葉の貝殻沈線紋、前期大木 1・2 式、中期大木 7～10 式土器、後期十腰内式、綱取式、堀之内式土器、土製円盤、ミニチュア土器、石鏃、打製石斧、磨石などが出土している。 (金子悠人)

参加者 小林謙一、西本志保子、大野朝日、金子悠人、鈴木祐太郎、田代直也、喜多明日佳、恩田涼平、磯野光希、目黒佑典、村上政昭、上杉公也、池田修平、宮田雅大、廣瀬鈴奈、萩庭里沙、伊藤結梨、小野綺華、水野聖子、今関美瑛、堀はるな、坂本碧海、三浦大悟、三輪千夏、吉田紫苑、森大希、岡本龍真、福田悠太郎、井口七海、佐藤舞優、島田樹、桐生大地、原田拓実、河本理沙、岩本桃佳、朝比奈舞、安藤友香、奈良部大樹、西村彩、伊藤靖、難波江春凧、松倉史佳、岡田雅仁、柴田実季 (中央大学)、月沢全暁、網谷愛美 (中央大学卒)、鈴木宏和、佐藤亮太、隈元道厚、川部菜里、関根有一朗、進藤瑞生、戸塚瞬翼、岸田彩 (早稲田大学)、岩浪陸 (東海大学)、小林尚子 (一般)、新井達哉 (福島市)、原充広 (公益財団法人福島市振興公社 文化財調査室)



調査風景



S12 住居土層断面



S12・1(旧S13) 住居全景



早・前期の土器



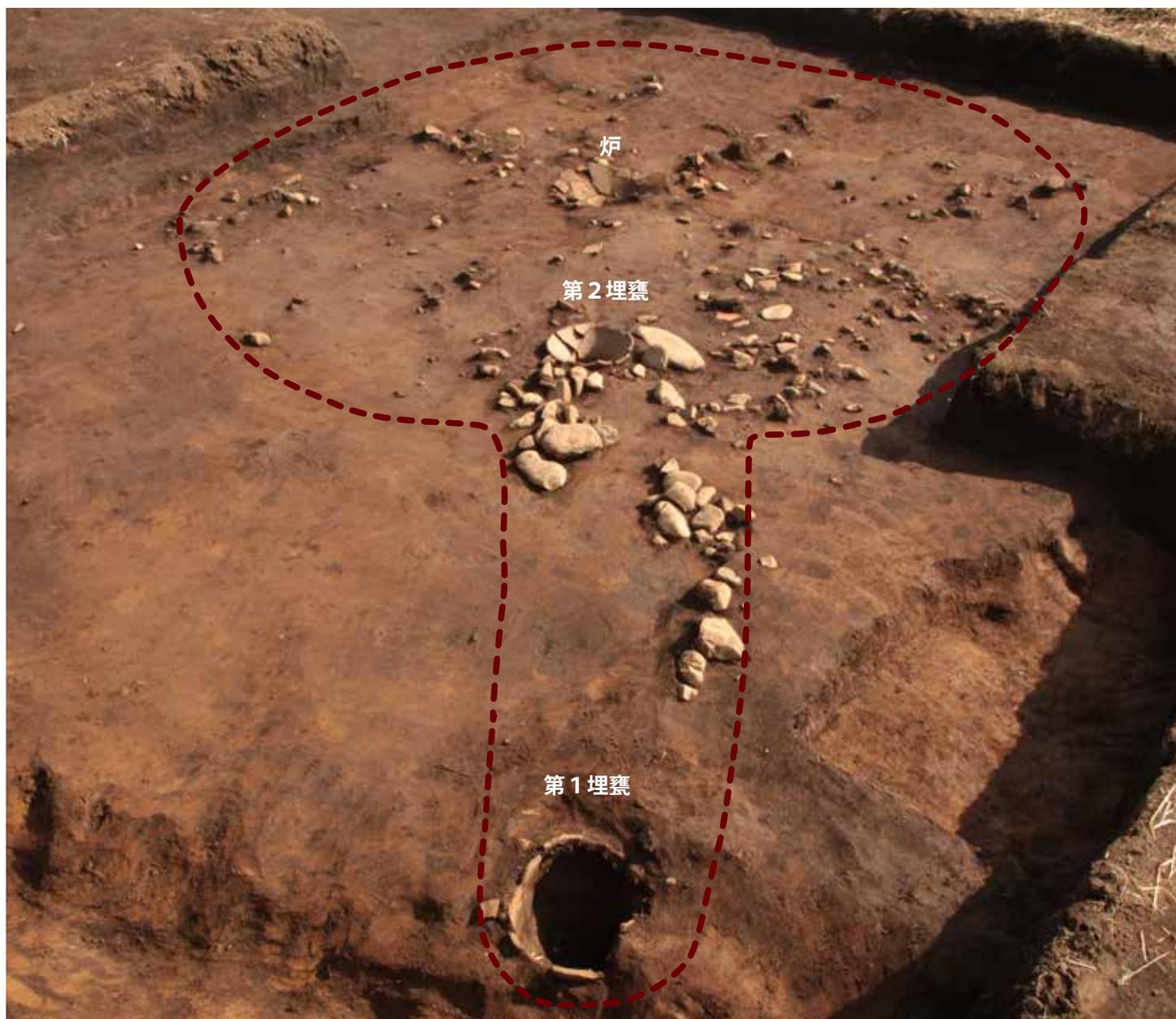
中・後期の土器

滝坂遺跡 東京都三鷹市中原

2014年から2016年にわたり調査した住居の記録・測量をおこなった。SI50・SI51住居は、2軒とも柄鏡形敷石住居と判明した。このうち、2016年度に確認されたSI50住居の埋甕2基は、入口部の第1埋甕と連結部分に位置する第2埋甕であると確認した。また、住居中央部に大形土器の胴部～底部を利用した土器片敷炉を検出した。敷石は、連結部の第2埋甕周辺から柄部にかけてやや大形の石が顕著に埋設され、炉周辺は小形の石が散乱気味に遺存していた。そのほか、2016・2018年度に調査したSI51住居の埋設土器と敷石の下からは、埋甕の両脇より2基の対となる楕円形の掘込みを伴うピットが検出された。本調査区において2軒の加曾利E4式期柄鏡形敷石住居跡の存在が明らかになった。

(小林尚子・小林謙一)

参加者 小林謙一、西本志保子、大野朝日、金子悠人、鈴木祐太郎、岩嶋健一、田村夏未、貝沼優佳、奈良部大樹、藤原佑貴、難波江春風、柴田実季、山岡真太郎、柗谷洸明、尾崎廉、松倉史佳(中央大学)、鈴木宏和、関根有一朗、進藤瑞生、岸田彩(早稲田大学)、小澤政彦(千葉県教育庁)、小林尚子(一般)、玉城雄一、下原裕司(三鷹市)



SI50 全景(南西より)



SI150 第2埋甕



SI150 第1埋甕



SI150 炉



SI151 全景



SI150 測量風景



SI150 第1埋甕



SI150 第2埋甕

上黒岩第2岩陰遺跡 整理状況

縄紋早期集積骨葬出土人骨の概要

2号墓から出土した集積骨葬の人骨は幼児から成人まで複数個体含まれている。骨の保存状況は概して良好で全身の骨が確認できる。解剖学的位置関係を保っているものなく、骨を集積したものと思われる。一部被熱したため黒色を呈しているものがある。
(奈良貴史)



頭骨復元作業風景（於 新潟医療福祉大学）



集積骨葬出土の主な骨

少なくとも幼児1、小児2、成人3（男性1、不明2）個体が確認されている。東京大学総合研究博物館放射性炭素年代測定室による5個体の年代測定結果は9000～8000cal BPである。



各年齢段階の大腿骨

左2つが成人、右3つが小児。左端の大腿骨最大長からの推定身長は166.2cm



各年齢段階の下顎骨

左8～9才小児、中央12～15歳、右成人



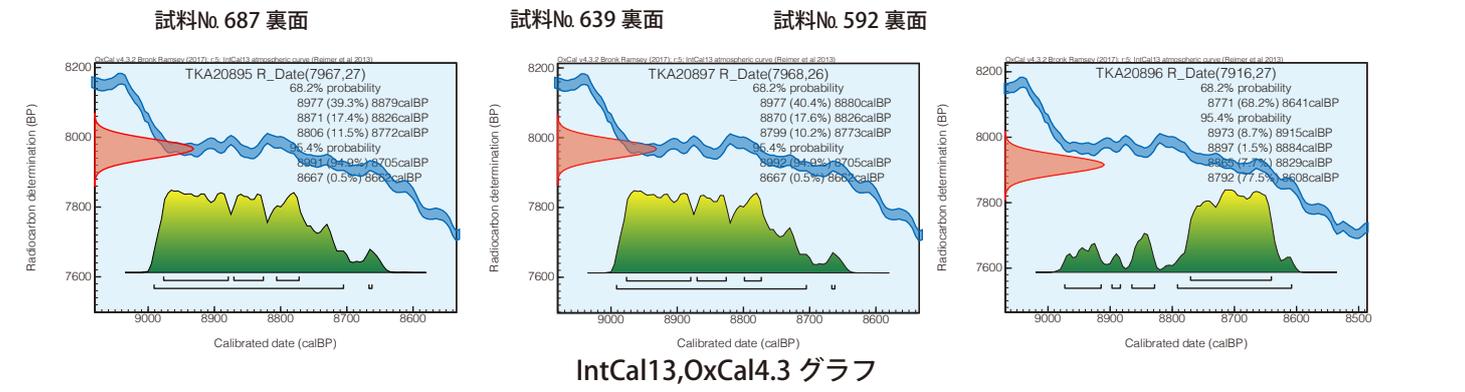
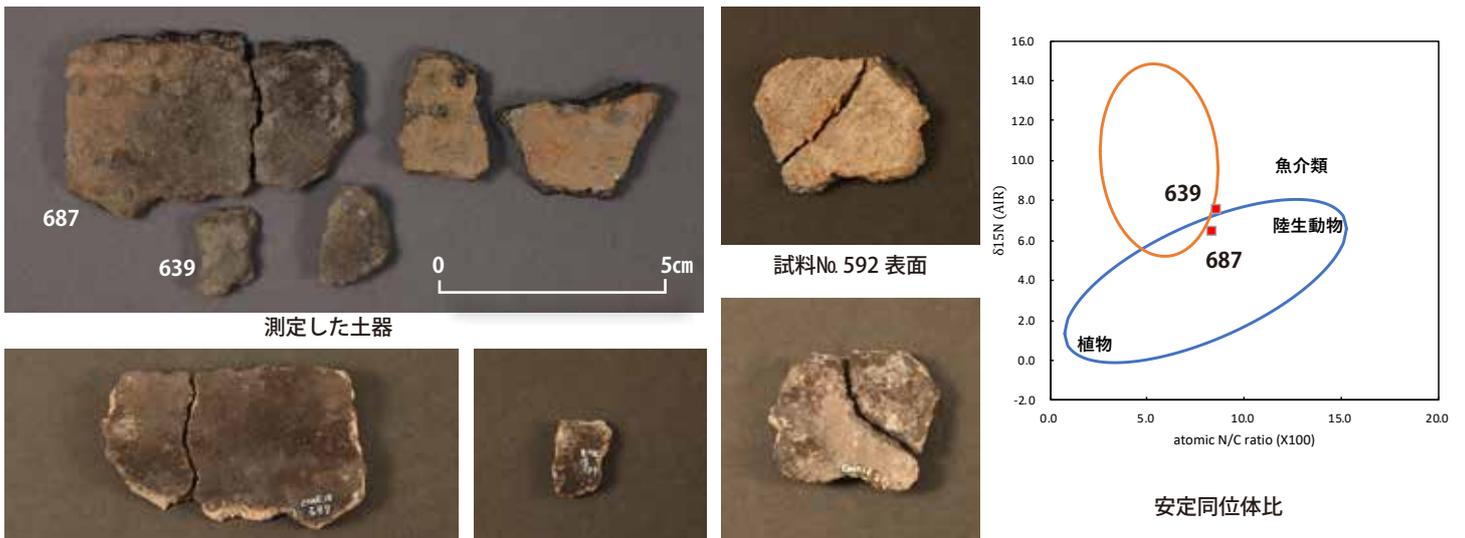
出土人骨の一部に被熱を受け黒色を呈するものがある

土器付着物の炭素 14 年代測定

上黒岩第 2 号陰より 2018 年度に出土した刺突文を持つ土器片内面付着物について、AMS 法による炭素 14 年代を測定した。土器片は、2 号墓とした掘り込み内に集積骨葬として埋置されていた 2 号人骨集中のおおむね上層より出土したもので、早期後半に属すると考えられ、3 片は同一個体をなす。整理作業において小林が採取し、国立歴史民俗博物館年代測定室で前処理をおこなったのち、米田穰が東京大学総合博物館にて AMS 測定をおこなった。

結果は、下記に示すように 3 点の測定値は誤差範囲内で重なる近似した結果であった。較正年代 (IntCal13,OxCal4.3 により算出) は TKA-20896 と 20897 は 8990~8705 cal BP に約 95%、20896 の較正はやや分散し 8790 ~ 8610 cal BP に 77.5% のほか、8975 ~ 8915 cal BP に 8.7%、8895 ~ 8885 cal BP に 1.5%、8865 ~ 8830cal BP に 7.7% の確率で含まれる年代である。同一個体であることを考慮すれば、もっともよく重なる 8800 ~ 8700cal BP ころに含まれる年代である可能性が最も高いといえる。早期中葉頃の年代を示している。併せて 2 点については IRMS により、安定同位体比と炭素・窒素量を測定した。その結果は、おおむね陸生の植物質由来と思われるが、やや C/N 比が小さいことから動物性食物が混合した食材の煮焦げなども考えられる。

これまでの上黒岩第 2 号陰遺跡出土試料を東京大学総合博物館の AMS にて測定した結果と比較すると、2 層包含層出土炭化物が $7890 \pm 30^{14}\text{CBP}$ で較正年代 8780-8595cal BP、2 号人骨集中の人骨が $7615 \sim 7860 \pm 30^{14}\text{CBP}$ ころで較正年代 8565-8430cal BP などを測っており、人骨の年代がやや新しい可能性があるが、その近辺で 8800 ~ 8700cal BP ころに居住活動が行われていた可能性は高いと考える。この土器付着物の年代は、小林 (2019 『縄紋時代の実年代講座』) の実年代比定では S4 期縄紋早期中葉無紋・沈線文系土器期に含まれよう。(小林謙一・遠部 慎・米田 穰)



ラボコード	測定試料名	¹⁴ CBP	δ ¹³ C (AMS)	較正年代 (2 σ) calBP
TKA-20895	EMK18-592	7967 ± 27	-26.9 ± 0.5 ‰	8991 (94.9%) 8705
				8667 (0.5%) 8662
TKA-20896	EMK18-639	7916 ± 27	-24.5 ± 0.4 ‰	8973 (8.7%) 8915
				8897 (1.5%) 8884
				8865 (7.7%) 8829
				8792 (77.5%) 8608
				8667 (0.5%) 8662
TKA-20897	EMK18-687	7968 ± 26	-22.5 ± 0.5 ‰	8992 (94.9%) 8705
				8667 (0.5%) 8662

元素および安定同位体比の分析結果					
試料名	δ ¹³ C	δ ¹⁵ N	C 濃度	N 濃度	C/N 比 (mol)
EMK18-639	-26.0 ‰	7.5 ‰	37.9%	3.8%	11.5
EMK18-687	-24.6 ‰	6.4 ‰	41.8%	4.1%	11.8



2019年度 和台遺跡調査参加者



考古学研究室 整理作業場にて
遺跡抄録

ふりがな	わだいいせき たきさかいせき かみくろいわだいにいわかげいせき						
書名	和台遺跡 滝坂遺跡 上黒岩第2岩陰遺跡						
副書名	2019年度発掘調査の概要						
シリーズ名	中央大学文学部考古学研究室 2019年度活動報告						
シリーズ番号							
著者名	小林謙一・小林尚子・金子悠人・遠部 慎・米田 穰・奈良貴史						
編集機関	中央大学文学部日本史学専攻考古学ゼミ 小林謙一（編集 小林尚子）						
所在地	東京都八王子市東中野 742-1						
発行年月日	2020年3月10日						
ふりがな	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因	
所収遺跡名	所在地						
わだ	ふくしまけんふくしましいのまちめいじあざみなみわだいきわだ	201 0113	37° 41'09"	140° 31'57"	2019.4.25 ~ 5.6	52.15㎡	史跡追加指定 範囲確認のため
和台遺跡	福島県福島市飯野町明治字南和台北和台 ほか						
ふりがな	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因	
所収遺跡名	所在地						
たきさか	とうきようとみたかしなかはら		33° 39'57"	139° 34'28"	2019.10.130 ~ 11.5	—	記録・測量
滝坂遺跡 M15-105	東京都三鷹市中原 226-14 外						

中央大学文学部考古学研究室 2019年度活動報告

和台遺跡 滝坂遺跡 上黒岩第2岩陰遺跡 2019年度発掘調査の概要

印刷・発行日 2020年3月10日

編集・発行 中央大学文学部日本史学専攻考古学ゼミ
小林謙一

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

表紙写真 和台遺跡 T 96・滝坂遺跡 SI50